

交 付 運 用 報 告 書

2022 年 6 月 30 日に終了する計算期間

SPDR ポートフォリオ S&P1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF
(SPDR Portfolio S&P 1500 Composite Stock Market ETF)

免責事項

この運用報告書の日本語版は SPDR シリーズ・トラストの 2022 年 6 月 30 日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、英語版および日本語版との間に齟齬が生じた場合、英語版が優先されることにご留意下さい。

(注) 本書において、米ドルの円貨換算は、2023 年 2 月 6 日現在の株式会社三菱 UFJ 銀行の対顧客直物電信売買相場仲値(1 米ドル=132.40 円)による。また、本書において文中および表中の数字は四捨五入された数値として表示されている場合があり、したがって合計として表示された数字はかかる数値の総和と必ずしも一致するとは限らない。

なお、米ドルの円貨換算は、原文には含まれておらず、監査報告その他本書面上の報告の対象たる財務諸表を構成するものではない。

交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

パフォーマンスの概要に対する注記(未監査)

純資産価額(以下「NAV」という。)による本ファンドのトータル・リターン、市場価格に基づくトータル・リターンおよびそのベンチマーク・インデックスについてパフォーマンスを示す表は、比較目的のためだけに記載されており、表示された期間を示している。本ファンドの受益権1口当たりのNAVは、本ファンドの受益権1口の価額であり、資産総額から負債総額を控除した後の額を発行済みの受益権数で除して計算される。NAV リターンは、本ファンドのNAVを基準とし、市場リターンは、本ファンドの受益権1口当たり市場価格を基準とする。市場リターンの計算に使われる市場価格は、本ファンドの受益権が上場されている取引所における本ファンドのNAVの計算時の買い呼び値の最高額と売り呼び値の最低額の間値を用いて決定される。NAV および市場リターンは、配当とキャピタルゲインの分配金が、NAVにより本ファンドに再投資されていることを前提としている。市場リターンには、流通市場での取引について支払われる売買委託手数料は含まれていない。売買委託手数料を含めたとしたら、市場リターンはこれより低くなるものと思われる。

インデックスは、特定の金融市場またはセクターについての統計的測定基準である。インデックスは、実際には証券ポートフォリオを有していないため、手数料または費用の控除額は反映されない。これに対して、本ファンドのパフォーマンスは、こうした控除額のマイナスの影響を受ける。本インデックスのリターンは、収益、値上がり益および損失の全ての項目と、配当およびその他の利益の再投資を反映している。

S&P コンポジット 1500[®]指数(S&P Composite 1500[®] Index)は、米国株式市場の大型、中型および小型株式セグメントのパフォーマンスを測定することを目的としている。本インデックスは、S&P500[®]指数、S&P 中型株式 400[®]指数および S&P 小型株式 600[®]指数に含まれる株式から構成されている。各原指数には、一定の米国証券取引所に上場しているものであり、特定の時価総額要件を満たす普通株式が含まれる。

運用報告書(全体版)における財務諸表に対する注記を参照。

SPDR ポートフォリオ S&P1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF
(SPDR Portfolio S&P 1500 Composite Stock Market ETF) -
ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察(未監査)

SPDR ポートフォリオ S&P1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF(SPDR Portfolio S&P 1500 Composite Stock Market ETF) (以下「本ファンド」という。)は、手数料および費用の控除前の段階で、原則として、米国上場エクイティ証券の広範な分野に連動する指数のトータル・リターンのパフォーマンスに一致した投資結果を提供することを追求している。本ファンドのベンチマークは S&P コンポジット 1500 指数(S&P Composite 1500 Index) (以下「本インデックス」という。)である。

2022 年 6 月 30 日に終了する 12 ヶ月間(以下「報告期間」という。)について、本ファンドのトータル・リターンは、-11.02%であり、本インデックスのトータル・リターンは、-11.02%であった。本ファンドと本インデックスのリターンは、配当およびその他の利益の再投資を反映している。本ファンドのパフォーマンスは、売買委託手数料および投資顧問費用を含め、本ファンドの運用費用を反映している。本インデックスは運用されておらず、本インデックスのリターンは、リターンにマイナスの影響を及ぼす、いかなる種類の手数料および費用も反映していない。

米国では、製造およびサービスセクターが経済発展に貢献したため、報告期間の始め、経済成長は好調だった。雇用市場は、2021 年 7 月、2020 年 8 月以来最大の追加である約 943,000 の雇用を創出する形で改善した。再開により影響を受けた旅行および観光のようなセクターは、2021 年下半期に大きく貢献した。

2022 年初め、ロシア・ウクライナ戦争および金融政策の引き締めに関する懸念が株式市場に重くのしかかった。地政学的リスクは、継続するロシア・ウクライナ戦争中に高まり続け、これにより台湾をめぐる米国と中国間の緊張の高まりは続いた。インフレ率が 7.9%に上昇し、過去 40 年間の最高値に達したため、米国の消費者マインドは物価上昇により悪影響を受けた。連邦準備制度理事会(以下「Fed」という。)は、2018 年以来最初の利上げを発表し、目標金利を 0.25%引き上げ、更なる利上げが適切であると明らかにした。プラスの面では、米国の労働市場は堅調なままであり続け、2 月の雇用統計は予想よりもはるかに好調で、賃金伸び率も前年同期比で 5.1%上昇した。市場は、2022 年第 2 四半期に不安定であり続け、株式および債権は急落し、報告期間中に本ファンドのパフォーマンスに悪影響を与えた。

本ファンドは、報告期間中、現金および未収金を株式化するために、株式指数先物を用いた。本ファンドが先物を用いたことにより、本ファンドは、本インデックスに連動しやす

運用報告書(全体版)における財務諸表に対する注記を参照。

くなった。

個々の証券のレベルでは、報告期間中、本ファンドのパフォーマンスに最も貢献したのは、UnitedHealth Group、Eli Lilly および Pfizer であった。報告期間中、本ファンドのパフォーマンスに最もマイナスに寄与したのは、Amazon、Meta Platforms および PayPal であった。

上記の見解は、報告期間のみを通じた本ファンドのポートフォリオ・マネージャーの見解を反映したもので、必ずしもアドバイザーの見解を全て反映しているものではない。この見解は、市場その他の状況により常に変更されることがあり、アドバイザーは、この見解を最新のものに更新する責任を負わない。この見解に投資助言として依拠することはできない。ファンドの投資判断は多くの要素に基づいているため、この見解をファンドのために取引を行う意思を示すものとして、依拠することはできない。

運用報告書(全体版)における財務諸表に対する注記を参照。

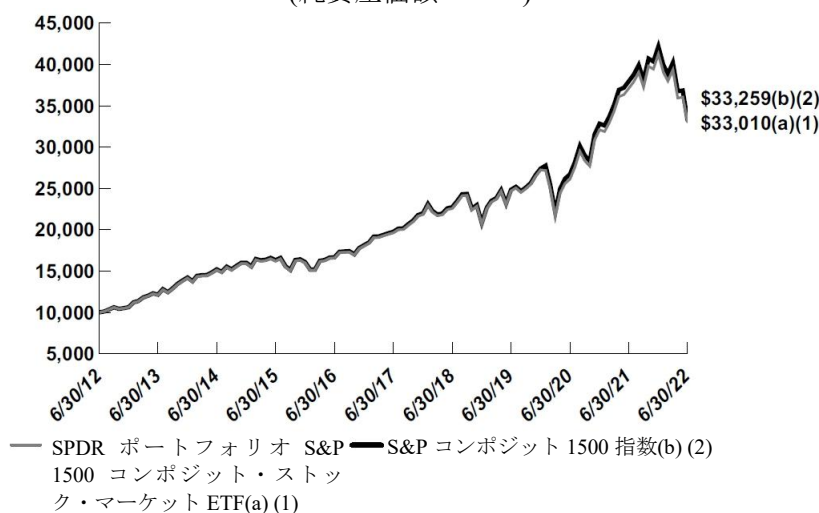
**SPDR ポートフォリオ S&P1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF
パフォーマンスの概要(未監査)**

2022年6月30日現在のパフォーマンス

	累積トータル・リターン			平均年間トータル・リターン		
	純資産価額 ⁽¹⁾	市場価格 ⁽¹⁾	S&P コンポジット 1500 指数 ⁽²⁾	純資産価額 ⁽¹⁾	市場価格 ⁽¹⁾	S&P コンポジット 1500 指数 ⁽²⁾
1年	(11.02)%	(10.92)%	(11.02)%	(11.02)%	(10.92)%	(11.02)%
5年	68.20%	67.96%	68.36%	10.96%	10.93%	10.98%
10年	230.10%	230.54%	232.59%	12.68%	12.70%	12.77%

- (1) 2020年1月24日付けで、本ファンドはベンチマーク・インデックスを、SSGA 米国トータル・ストック・マーケット指数(SSGA Total Stock Market Index)から S&P コンポジット 1500 指数に変更した。2017年11月16日付けで、本ファンドはベンチマーク・インデックスを、ラッセル 3000 指数(Russell 3000 Index)から SSGA 米国トータル・ストック・マーケット指数に変更した。2013年7月9日付けで、本ファンドはベンチマーク・インデックスを、ダウ・ジョーンズ米国トータル・ストック・マーケット指数(Dow Jones U.S. Total Stock Market Index)からラッセル 3000 指数に変更した。上記の表に記載の本ファンドのパフォーマンスは、2020年1月24日より前の期間においては異なるベンチマーク・インデックスに連動させるという本ファンドの従前の投資戦略に基づいている。
- (2) 本インデックスのリターンは、2011年6月30日から2020年1月23日までの本ファンドの以前のベンチマーク・インデックスおよび2020年1月24日から2022年6月30日までの S&P コンポジット株式 1500 指数を示している。

投資額 10,000 ドル(1,324,000 円)の価値の変化の比較
(純資産価額ベース)



折れ線グラフは、累積トータル・リターンに基づく。

直近の目論見書の手数料および費用の表に記載されている SPDR ポートフォリオ S&P1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF の費用総額の割合は、0.03%である。2022年6月30日に終了する会計期間に関する費用総額の割合については、財務ハイライトをご参照頂きたい。

運用報告書(全体版)における財務諸表に対する注記を参照。

記載されているパフォーマンスは、過去のパフォーマンスを示すものであり、将来の結果を保証するものではない。投資リターンと元本価値は変動するものであり、受益権を売却した際に、利益を得ることも、損失が生じることもある。現在のパフォーマンスが、記載されたものを上回ることも、下回ることもある。直近の月末のパフォーマンスについては、www.ssga.com をご覧頂きたい。リターンは、受益者が本ファンドの分配金または本ファンドの受益権の償還もしくは売却に関して支払う租税の控除額は反映していない。詳細については「パフォーマンスの概要に対する注記」(1 頁)をご参照頂きたい。

運用報告書(全体版)における財務諸表に対する注記を参照。

SPDR ポートフォリオ S&P1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF
ポートフォリオ統計(未監査)

2022年6月30日現在の保有額上位10位

銘 柄	純資産に対する百分 比(%)
Apple, Inc.	6.1%
Microsoft Corp.	5.5
Amazon.com, Inc.	2.7
Alphabet, Inc. Class A	1.9
Alphabet, Inc. Class C	1.7
Tesla, Inc.	1.6
Berkshire Hathaway, Inc. Class B	1.4
UnitedHealth Group, Inc.	1.4
Johnson & Johnson	1.3
NVIDIA Corp.	1.1
合 計	24.7%

(保有額の上位10位は変わる可能性があり、本ファンドが特定の会社に投資し続けるという保証はない。)

2022年6月30日現在のセクター別内訳

	純資産に対する百分 比(%)
情報技術	25.7%
ヘルスケア	14.7
金融	11.3
一般消費財	10.8
資本財	8.6
通信サービス	8.3
生活必需品	6.8
エネルギー	4.3
不動産	3.3
公益事業	3.1
素材	2.9
短期投資	0.6
その他資産を超過する負債	(0.4)
合 計	100.0%

(本ファンドのセクター別内訳は、純資産に対する百分比として表示されており、時間の経過とともに変更する可能性がある。)

運用報告書(全体版)における財務諸表に対する注記を参照。

SPDR シリーズ・トラスト

財務ハイライト

各期間中の1口当たりの発行済受益権に関する主要なデータ

	SPDR ポートフォリオ S&P 1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF				
	2022年6月 30日終了年 度	2021年6月 30日終了年 度	2020年6月 30日終了年 度	2019年6月 30日終了年 度	2018年6月 30日終了年 度(a)
期首純資産価額	\$52.97	\$37.81	\$36.49	\$33.98	\$30.06
投資活動による利益(損失) :					
純投資利益(損失) (b)	0.76	0.68	0.72	0.68	0.64
実現および未実現の純利益(損失) (c)	(6.51)	15.15	1.35	2.43	3.72
投資活動による合計	(5.75)	15.83	2.07	3.11	4.36
純平準化貸記額および借記額(b)	0.01	0.01	(0.02)	0.06	0.10
関係会社による出資	=	0.00(d)	=	=	=
その他の元本	0.00(d)	=	=	=	=
受益者への分配金原資の内訳 :					
純投資利益	(0.77)	(0.68)	(0.73)	(0.66)	(0.54)
期末純資産価額	\$46.46	\$52.97	\$37.81	\$36.49	\$33.98
トータル・リターン(e)	(11.02)%	42.13%	5.76%	9.45%	14.90%
比率および補足データ :					
期末純資産(単位:1,000)	\$5,117,088	\$5,182,681	\$3,391,957	\$3,497,222	\$2,198,379
平均純資産に対する比率 :					
費用合計	0.03%	0.03%	0.03%	0.03%	0.04%
純投資利益(損失)	1.41%	1.48%	1.93%	1.96%	1.92%
ポートフォリオの回転率(f)	1%	3%	12%	4%	8%

- (a) 2017年10月16日、SPDR ポートフォリオ米国トータル・ストック・マーケット ETF は、6対1の受益権分割を行った。ここに表示されている受益権1口当たりのデータは、この分割を反映するため、遡及的に修正されている。
- (b) 受益権1口当たりの数字は発行済平均受益権数を用いて計算されており、当年度の受益権1口当たりのデータをより適切に示している。
- (c) 1口当たりの発行済受益権について本項目に示された額は、本ファンドの市場価格の変動に関連して、本ファンドの受益権の売却および買戻しの時期により、当会計期間の有価証券の損益総額の変動と一致していないことがある。
- (d) 受益権1口当たり0.005ドル(0.662円)未満の額
- (e) トータル・リターンは、各報告期間の初日に受益権が純資産価額で購入され、末日に純資産価額で売却されたという前提で計算されている。この計算の目的上、分配金は、各分配金の各支払日に受益権1口当たり純資産価額で再投資されることを前提としている。1年に満たない期間のトータル・リターンは、年率換算されていない。売買委託手数料はこの計算には含まれていない。
- (f) ポートフォリオの回転率には、現物による設定または償還の手続きにおいて引き渡されたまたは引き渡した有価証券は含まれていない。

運用報告書(全体版)における財務諸表に対する注記を参照。

関係会社への報酬および関係会社との取引

投資顧問報酬

本トラストは、本ファンドのために、SSGA FM と投資顧問契約を締結している。アドバイザーによる本ファンドへの投資助言サービス、ファシリティの提供およびアドバイザーが負担する費用に対して、本ファンドは、日々発生する月々の報酬(以下「本運用/投資顧問報酬」という。)を、以下の表に示される本ファンドの日々の平均純資産に対する割合に基づいて、アドバイザーに支払う。

	<u>年間割合</u>
SPDR ダウ・ジョーンズ REIT ETF	0.25%
SPDR ポートフォリオ S&P 400 中型株式 ETF	0.05
SPDR ポートフォリオ S&P 500 ETF	0.03
SPDR ポートフォリオ S&P 500 グロース株式 ETF	0.04
SPDR ポートフォリオ S&P 500 高配当株式 ETF	0.07
SPDR ポートフォリオ S&P 500 バリューストック ETF	0.04
SPDR ポートフォリオ S&P 600 小型株式 ETF	0.05
SPDR ポートフォリオ S&P 1500 コンポジット・ストック・マーケット ETF	0.03
SPDR S&P 米国高配当株式 ETF	0.35

アドバイザーはまた随時、運用報酬の全部または一部を放棄することができる。アドバイザーは、2022年10月31日まで、本ファンドの運用報酬の一部を放棄し、取得したファンドの報酬および費用があればこれに相当する額の費用(キャッシュ・マネジメントのための取得した資金があればその保有額を除く。)を償還することに契約上合意した。この放棄および/または償還は、放棄または償還した金額をアドバイザーが取り戻すことは規定していない。この放棄および/または償還は、受託者会の同意がなければ、2022年10月31日より前に終了することはできない。

アドバイザーは、本ファンドの全ての費用を支払うが、運用報酬、売買委託手数料、租税、利息、1940年法において定義された本トラストの「利害関係者」ではない本トラストの受託者(以下「独立受託者」という。)の報酬および費用(受託者の法律顧問の報酬を含む。)、取得したファンドの報酬および費用、訴訟費用ならびにその他の特別費用は支払わない。

アドミニストレーター、カストディアン、サブアドミニストレーターおよび名義書換代理人の報酬

SSGA FM がアドミニストレーターに就任し、アドバイザーの関係会社であるステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(State Street Bank and Trust Company) (以下「ステート・ストリート」という。)がカストディアン、サブアドミニストレーターおよび名義書換代理人に就任している。ステート・ストリートは、カストディアン、サブアドミ

ニストレーターおよび名義書換代理人としてのサービスに対する報酬をアドバイザーから受け取る。

販売会社

アドバイザーの関係会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー(State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC) (以下「SSGA FD」または「販売会社」という。)は、本トラストの販売会社を務めている。

関係会社とのその他の取引— 証券貸付

ステート・ストリートは本ファンドの関係会社であり、2017年1月6日付の変更および書換済み証券貸付授權契約(その後の変更を含む。)に基づき、本ファンドの証券貸付代理人も務めている。

2022年1月1日を効力発生日として、ステート・ストリートが現金担保または(借入人に支払われる割戻しの控除後の)手数料収入の投資により回収した純手取金は、次のとおり支払われる。暦年初来の純手取金が SPDR ETF 全てに関して特定の最低基準を下回る場合には、本ファンドは、純手取金の 85%を保持し、かかる純手取金の 15%がステート・ストリートに支払われる。暦年初来の純手取金が特定の最低基準を上回る日後の営業日から、本ファンドは、純手取金の 90%を保持し、かかる純手取金の 10%がステート・ストリートに支払われる。2022年1月1日より前は、純手取金は、85%が本ファンド、15%がステート・ストリートに支払われていた。

さらに、貸付活動による現金担保は、SSGA FM が投資顧問を務める、関係を有するファンドであるステート・ストリート・ナビゲーター・セキュリティーズ・レンディング・ポートフォリオ II(State Street Navigator Securities Lending Portfolio II)に投資される。証券貸付に関する追加の情報については注記 9 を参照。

関係会社とのその他の取引

本ファンドは、関係会社に投資することがあり、これには、ステート・ストリート・コーポレーション(State Street Corporation)、関係ファンド、または、本ファンドが当該法人の議決権付証券もしくは発行済株式の 5%超を所有している結果として関係会社とみなされる法人により発行された証券が含まれる。2022年6月30日に終了する年度中のこれらの取引に関連する金額は、投資一覧で開示されている。

カストディアンに対する債務

特定の状況では、費用の支払い、資本取引、証券の取引、投資活動またはデリバティブ取引のために、本ファンドがカストディアンとの間で当座借越しを有することがある。カストディアンに対する債務(もしあれば)の金額は、本ファンドの関係会社であるカストディアンとしてのステート・ストリートの当座借越金に反映する。